

平成28年第3回邑楽町議会定例会議事日程第4号

平成28年9月15日（木曜日） 午前10時開議

邑楽町議会議場

- 第 1 認定第 1号 平成27年度邑楽町一般会計歳入歳出決算認定について
- 第 2 認定第 2号 平成27年度邑楽町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 3 認定第 3号 平成27年度邑楽町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 4 認定第 4号 平成27年度邑楽町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 5 認定第 5号 平成27年度邑楽町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 6 認定第 6号 平成27年度邑楽町学校給食事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 7 認定第 7号 平成27年度邑楽町水道事業会計決算認定について

○出席議員（13名）

1 番	黒 田 重 利	議員	2 番	大 賀 孝 訓	議員
3 番	瀬 山 登	議員	4 番	松 島 茂 喜	議員
5 番	塩 井 早 苗	議員	6 番	原 義 裕	議員
7 番	松 村 潤	議員	8 番	神 谷 長 平	議員
9 番	半 田 晴	議員	10 番	坂 井 孝 次	議員
11 番	大 野 貞 夫	議員	12 番	田部井 健 二	議員
14 番	小 島 幸 典	議員			

○欠席議員（なし）

○地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名

金 子 正 一	町 長
大 舩 一	副 町 長
大 竹 喜 代 子	教 育 長
小 倉 章 利	総 務 課 長
橋 本 喜 久 雄	企 画 課 長
金 井 幸 男	税 務 課 長
久 保 田 裕	住 民 課 長
橋 本 圭 司	安全安心課長
河 内 登	健康福祉課長
多 田 哲 夫	子ども支援課長
小 林 隆	農業振興課長 兼農業委員会 事務局 長
森 戸 栄 一	商工振興課長
松 崎 嘉 雄	都市建設課長
山 崎 健 一 郎	会 計 管 理 者 兼 会 計 課 長
関 口 春 彦	学校教育課長
半 田 康 幸	生涯学習課長
増 尾 榮 一	監 査 委 員

○職務のため議場に参加した者の職氏名

田 部 井	春 彦	事 務 局 長
石 原	光 浩	書 記

◎開議の宣告

○田部井健二議長 これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、配付したとおりであります。

〔午前 10 時 00 分 開議〕

◎日程第 1 認定第 1 号 平成 27 年度呂楽町一般会計歳入歳出決算認定について

○田部井健二議長 日程第 1、認定第 1 号 平成27年度呂楽町一般会計歳入歳出決算認定についてを議題とします。

これより逐条質疑に入ります。

まず、一般会計の歳入全款について質疑を行います。

決算書では69ページまでです。

質疑ありませんか。

松島茂喜議員。

○4 番 松島茂喜議員 歳入全般につきまして、町長にお伺いをしたいと思います。

監査委員からの決算審査意見書の中にもありましたとおり、平成27年度の一般会計につきまして、単年度収支は黒字に転じたということです。平成26年度は赤字でございました。ようやく黒字に転じたということですが、町税がまた再び落ち込んだと、それから公債費は増加に転じたままであるということです。この状況を、監査委員からの意見書によりますと、各事業運営の改善や、それから効率化によって、より一層推進されるよう要望するというような意見書が出されておりますが、具体的にこういった事業運営の改善を行っていくのか、その点についてお伺いをしたいと思います。

○田部井健二議長 金子町長。

○金子正一町長 お答えいたします。

ご指摘のように、歳入については、平成25年度と平成26年度比較しますと、また平成27年度再び減少になっていると。この要因については、議員もご承知のことと思いますけれども、一つには法人町民税の実効税率が14.7%から12.1%、減ってしまったということが大きくあるわけですが、加えて固定資産の評価替えの年でもありましたから、その評価額が前年に対して減少しているということが大きな原因でもあります。

そういった収入が減少している中での町づくりのいわゆる考え方ということではありますが、これは一つに大変、ご承知のことと思いますけれども、いわゆる福祉医療費、それから高齢者、それから少子化の問題等がそれに起因しているわけでもありまして、そういった点が、改善というよりも

充実をしてきたということが言えます。加えて改善の面では、公共施設等の施設整備、具体的には幼稚園、保育園、そして小中学校のいわゆる耐震化の問題があるわけですが、これが全て100%その改善がされたということがありますので、そういったことが大きくこの平成27年度については言えるのではないかと、また私もそのように理解しているところでございます。

○田部井健二議長 松島茂喜議員。

○4番 松島茂喜議員 よく質問の内容を把握していただきたいのですが、私はこういった結果になった要因を聞いているのではなくて、これから、公債費も伸びていっているわけですから、その部分についてどういった改善を行っていくのかということを伺っているのですが。おわかりでしょうか。

○田部井健二議長 金子町長。

○金子正一町長 大変失礼しました。公債費の増については、先ほど申し上げたような事業を行ったという経緯があります。したがって、今後については、そういった公債費の部分については若干減少していくのではないかとというふうに思っておりますし、加えて今、低金利のときでもありますから、それらについても十分担当のほうに指導していく中で具体的に、それができるかどうかということとは私ちょっと不勉強ですが、低金利のものに借り替えをして、そういった比率を下げていくということも一つの方法だというふうに思います。総じて公債費については、大きな事業が今まであったということがありますから、今後はこれらの借入れについては十分注意をしていきたいと思っております。

特にその中で大きな部分を占めるのが、国のほうの制度にもありますけれども、国のほうで交付金のほうで手当てするのがなかなかできないということで、その借り替え、借金をしている部分がありますから、それらも慎重に事業に応じて借りるような計画はしていかなければならないというふうに思っています。したがって、今後については、できるだけ公債費が伸びないように、借金に頼らないような形での事業計画をしていきたいと、このように思います。大変失礼いたしました。

○田部井健二議長 松島茂喜議員。

○4番 松島茂喜議員 金利が下がっている、借り替え等も行っていくということです。残念ながら、金利については変動ですので、いつ、どうなるかわかりませんし、その部分を有効的にといてもなかなか具体性に欠ける部分があるのかなと。公共事業等大きな事業があらかた落ちついて、ハード面ですね、ですからソフト面にこれから予算をかけていくことによってそういった借入れ等も少なくなっていくから何とか抑えられるだろうというようなご答弁でしたが、確かに町のそういった大きな公共工事といいましょうか、そういったものはある一定程度落ちついたのかなというふうに思いますが、これは順番でやはり町民体育館、これからですね、武道館等、老朽化していく施設等もちろんあるわけですね。私は、この中央公民館を建設するに当たってもそうでしたが、なかなかその基金の積み立てが行われてこなかったということです。ですから、そういった先を見れ

ば、できる限りその建設をしなくてはならない、建て替えを行わなくてはならないときに、公債費を充てるということではなくて、それまでに少しずつでもできる限りやはり積み立てを行っていたいて、そして後世に負担を残さない、そういった行政運営をしていただきたい。中央公民館が前例にあるわけですから、ぜひともそういった行政運営を行っていただきたいと思っておりますが、最後に町長の見解を聞いて終わりにします。

○田部井健二議長 金子町長。

○金子正一町長 ご指摘のとおりだというふうに思っております。私もできる限り自主財源の中で事業が進めていけるように今後も努力していきたいと、このように思います。

○田部井健二議長 ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○田部井健二議長 よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○田部井健二議長 なければ、次に歳出の第1款議会費、第2款総務費、第3款民生費について質疑を行います。

決算書では70ページから159ページまでとなります。

質疑ありませんか。

神谷長平議員。

○8番 神谷長平議員 今年度決算を見ますと、大分流用が多くされているかなと。同款同項同目については流用が可能だということですが、前年度につきましては8項目の流用がございました。これは平成26年度分ですね。平成27年度分につきましては27項目の流用が行われているというような状況がありますので、この辺についてお尋ねをしたいと思います。

○田部井健二議長 金子町長。

○金子正一町長 流用については認められているとは申せ、やはり予算の性質上、その項目で当然支出をし、実行していかなければならないということであります。平成26年が8項目、平成27年が27項目、大変増えているということについては、流用については、当然計画性を持って仕事を行っているという面ではありますが、時にその目的としたものについて緊急性を要するということも出てくる、これは事業執行の上で当然出てくるものも多いわけでもありますので、だからいいというふうには申し上げません。できるだけ精査した中で、その予算の中で実行ができるように努めていくことが、これはそのとおりでもありますので、今後十分注意をしていきたいと、このように思います。

○田部井健二議長 神谷長平議員。

○8番 神谷長平議員 3月議会にも補正予算が組まれております。14款ありますけれども、その中の約10款ぐらいが流用されているのかなと。そういうことを見ますと、大変事務的にお粗末になっているのかなと、そのようにこの結果を見ると判断せざるを得ないかなと思いますので、もう少し

真剣にですね、本当に事務費の流用ならばいいのですけれども、需用費から、委託費だとか工事費の流用というのがありますので、工事費については、ある程度事業については議会の承認を得た中で動いていった中でいかないというと、この流用ということになりますと、その辺が掌握できない状況になってきますので、その辺については今後ないようにお願いしたいと思いますけれども、町長の考えをお尋ねします。

○田部井健二議長 金子町長。

○金子正一町長 ご質問のとおり、今後十分精査した中で、各担当するところで取り扱っていくように十分気をつけていきたいと、このように思います。

○田部井健二議長 ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○田部井健二議長 なければ、次に第4款衛生費、第5款労働費、第6款農林水産業費について質疑を行います。

決算書では158ページから197ページとなります。

質疑ありませんか。

よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○田部井健二議長 次に、第7款商工費、第8款土木費、第9款消防費について質疑を行います。

決算書では196ページから229ページまでとなります。

質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○田部井健二議長 よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○田部井健二議長 なければ、次に第10款教育費、第11款災害復旧費、第12款公債費、第13款諸支出金、第14款予備費について質疑を行います。

決算書では228ページから337ページまでとなります。

質疑ありませんか。

よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○田部井健二議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

大野貞夫議員。

〔11番 大野貞夫議員登壇〕

○11番 大野貞夫議員 認定第1号 平成27年度呂楽町一般会計歳入歳出決算認定について、反対討論を行います。

私は、昨年、平成27年3月19日に開かれた定例会において、提案された平成27年度呂楽町一般会計予算及び特別会計予算について、一部を除いて反対をした経緯があります。理由は、安倍内閣によるアベノミクスのもとで、景気がよくなると盛んに宣伝されるもとで実態はどうか。最大の不公平税と言われる消費税が8%に増税になり、円安で物価が上昇し、実質賃金は連続で減少し、大企業や富裕層と言われるほんの一握りの人たちだけが潤い、国民の多くは大変な思いをしている。その一方で、高齢者の命綱とも言えるべき年金は毎年引き下げられ、生活は苦しくなる一方である。安倍首相は、さきの総選挙で「医療、介護の充実を図る」と公約しながら、やっていることは、社会保障の予算をばっさり削って、大企業の法人税減税のばらまきや、戦争する国に向けた軍拡予算を強行しようとしている。以上のような理由で反対をいたしました。

さて、振り返ってこの1年、どうだったでしょうか。少しも変わっておりません。むしろ悪くなる一方です。呂楽町の平成27年度の予算の執行状態を見ますと、個々には幾つかの面で評価すべき面はありますが、総体的には国の方針を踏襲した内容になっています。今回の決算認定についても、さきの予算案に反対した者の一人として、その整合性が問われます。

以上のような理由から、反対の討論といたします。

○田部井健二議長 ほかに討論ありませんか。

坂井孝次議員。

〔10番 坂井孝次議員登壇〕

○10番 坂井孝次議員 認定第1号 平成27年度呂楽町一般会計歳入歳出決算認定について、賛成討論を行います。

歳入においては、前年度決算額と比較して6億4,721万円の増となっております。地方消費税交付金、国庫支出金等が増加した一方、町税、県支出金が減少しました。自主財源である町税は前年度より8,025万円の減額となりましたが、不納欠損額及び収入未済額が減少しており、滞納対策に努力された結果が見られます。

主な事業の成果としましては、少子化対策では、北保育園改築工事を実施し、子育て支援と保育環境の充実が図られました。商業振興では、プレミアム付商品券発行事業を実施し、町内での消費の拡大と地域経済の活性化に取り組みました。生活基盤の整備では、おうら中央多目的広場の整備を行い、中央公園に新たな町民の憩いの場が整備されました。また、道路新設改良工事として、国庫補助金を活用しながら、町道の舗装修繕工事を実施し、道路の整備が行われました。

教育関係では、中野小学校の水泳プール改築工事や、呂楽中学校の特別教室棟改築工事を行い、教育の充実が図られました。また、スポーツ・レクリエーション広場改修工事では、広場の人工芝化を行い、快適なスポーツ環境が実現し、町民体育祭が盛大に行われることが期待されます。

保健福祉分野では、少子高齢化や核家族化が進行する中で、地域が一体となった福祉の充実を図っていくための指針である「地域福祉計画」及び「地域福祉活動計画」を策定し、自助・共助・公助の重層的な取り組みが期待されます。

財政面では、実質公債費比率は5.5%で、前年より0.5%増加しているものの、早期健全化基準の25%より大きく下回っており、健全な財政が維持されています。

以上のとおり、平成27年度においては堅実な財政運営が行われております。今後とも少子高齢化と人口減少に対応した施策に加え、町民が夢や希望を持って暮らせる町づくりを目指し、さらなる行政運営の効率化と行政サービスの充実に努力されるようお願いし、賛成討論といたします。

○田部井健二議長 ほかに討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○田部井健二議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより認定第1号 平成27年度邑楽町一般会計歳入歳出決算認定についてを採決します。

本案は原案のとおり認定することに賛成の方は起立願います。

〔起立多数〕

○田部井健二議長 起立多数。

よって、認定第1号は原案のとおり認定することに決定しました。

◎日程第2 認定第2号 平成27年度邑楽町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

○田部井健二議長 日程第2、認定第2号 平成27年度邑楽町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定についてを議題とします。

これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○田部井健二議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

大賀孝訓議員。

〔2番 大賀孝訓議員登壇〕

○2番 大賀孝訓議員 認定第2号 平成27年度邑楽町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について、賛成討論を行います。

国民健康保険制度は、社会保障及び国民保険の向上に寄与することを目的に、被保険者の疾病、出産及び死亡などに関し、必要な保険給付を行う医療保険制度で、国民皆保険制度の基盤となる制

度として成り立っております。地域医療の確保や町民の健康保持増進に大きく貢献をしております。

平成27年度邑楽町国民健康保険特別会計ですが、歳入のうち国民健康保険税は前年度に比べ6.1%の減となっており、税負担の公平性を堅持するためにも、徴収の強化に努めることを要望いたします。

歳出については、歳出総額の59.0%を占める保険給付費は前年度比0.9%の増となっており、国民健康保険財政は依然として厳しい状況にあります。この中でも、平成27年度についてはレセプト点検の改善工夫などが行われ、支出の削減に努め、このレセプト点検における適正化については、約1,500万円近くの減額を生じております。

今後も医療費の抑制に向けて、さらなる保健事業の充実と健康増進対策などに取り組んでいただくことを期待し、本認定に賛成をいたします。

○田部井健二議長 ほかに討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○田部井健二議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより認定第2号 平成27年度邑楽町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定についてを採決します。

本案は原案のとおり認定することに賛成の方は起立願います。

〔起立多数〕

○田部井健二議長 起立多数。

よって、認定第2号は原案のとおり認定することに決定しました。

◎日程第3 認定第3号 平成27年度邑楽町後期高齢者医療特別会計歳入歳出
決算認定について

○田部井健二議長 日程第3、認定第3号 平成27年度邑楽町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定についてを議題とします。

これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○田部井健二議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○田部井健二議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより認定第3号 平成27年度呂楽町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定についてを採決します。

本案は原案のとおり認定することに賛成の方は起立願います。

〔起立多数〕

○田部井健二議長 起立多数。

よって、認定第3号は原案のとおり認定することに決定しました。

◎日程第4 認定第4号 平成27年度呂楽町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

○田部井健二議長 日程第4、認定第4号 平成27年度呂楽町介護保険特別会計歳入歳出決算認定についてを議題とします。

これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○田部井健二議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

原義裕議員。

〔6番 原 義裕議員登壇〕

○6番 原 義裕議員 認定第4号 平成27年度呂楽町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について、賛成討論をいたします。

全国的に高齢化が進む中、呂楽町においても平成27年度末の高齢化率が28.2%となり、速いスピードで確実に上昇しています。

介護保険制度は、要介護高齢者、認知症高齢者、ひとり暮らし高齢者などが着実にふえている中、介護や生活支援などのサービスを受けることができる非常に重要な制度であります。

平成27年度の呂楽町の介護保険事業については、介護予防・日常生活支援総合事業に移行するなど、例年のとおり介護予防に力を入れた取り組みを行っていますが、決算においては、歳入で対前年度比4.54%増、歳出においても対前年度比4.36%の増となっており、年々増加をしています。

第6期介護保険事業計画は、平成27年度が初年度ですが、すぐに第7期を見据えた取り組みも必要となります。事業の健全な運営の継続を図るとともに、制度の維持、発展のため、より利用者等のニーズに合った介護サービスの提供を続けていただきますことを要望し、本認定に賛成いたします。

○田部井健二議長 ほかに討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○田部井健二議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより認定第4号 平成27年度呂楽町介護保険特別会計歳入歳出決算認定についてを採決します。

本案は原案のとおり認定することに賛成の方は起立願います。

〔起立多数〕

○田部井健二議長 起立多数。

よって、認定第4号は原案のとおり認定することに決定しました。

◎日程第5 認定第5号 平成27年度呂楽町下水道事業特別会計歳入歳出決算
認定について

○田部井健二議長 日程第5、認定第5号 平成27年度呂楽町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定についてを議題とします。

これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○田部井健二議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

松村潤議員。

〔7番 松村 潤議員登壇〕

○7番 松村 潤議員 認定第5号 平成27年度呂楽町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定についての賛成討論を行います。

平成27年度においても下水道工事は順調に整備が進められ、供用開始区域も157ヘクタールと拡大されました。公共下水道に対する関係者のご理解のもと、供用開始区域内の水洗化率も62.9%と順調に推移しております。今後も下水道工事の効率的な事業推進を図り、さらに排水設備接続の推進が図られるよう期待をしております。

厳しい財政状況下ではありますが、さらなる創意工夫を重ね、町民の生活環境の改善要望に応えるために、引き続き効率的な事業執行に努めることを要望し、本認定に賛成いたします。

○田部井健二議長 ほかに討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○田部井健二議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより認定第5号 平成27年度呂楽町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定についてを採決し

ます。

本案は原案のとおり認定することに賛成の方は起立願います。

〔起立全員〕

○田部井健二議長 起立全員。

よって、認定第5号は原案のとおり認定することに決定しました。

◎日程第6 認定第6号 平成27年度呂楽町学校給食事業特別会計歳入歳出決算認定について

○田部井健二議長 日程第6、認定第6号 平成27年度呂楽町学校給食事業特別会計歳入歳出決算認定についてを議題とします。

これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○田部井健二議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

黒田重利議員。

〔1番 黒田重利議員登壇〕

○1番 黒田重利議員 認定第6号 平成27年度呂楽町学校給食事業特別会計歳入歳出決算認定についての賛成討論を行います。

学校給食は、児童生徒等に栄養バランスのとれた食事を提供することにより、心身の健全な発達に資するとともに食に関する正しい理解と適切な判断力を養うことを目的に、学校教育活動の一環として実施されています。

現在の学校給食センターは、平成23年8月より稼働を始め、衛生管理にすぐれ、学校給食安全基準を満たした施設として整備されています。学校給食の提供に当たっては、安全・安心でおいしい給食はもちろんのことですが、地産地消の推進や、学校での授業への参加、給食訪問など食育の推進にも積極的に取り組んでいます。

今後とも学校給食の重要性を深く認識し、その目的と効果を十分発揮できる学校給食センターとして運営できるよう最善の努力を要望し、本認定に賛成いたします。

○田部井健二議長 ほかに討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○田部井健二議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより認定第6号 平成27年度呂楽町学校給食事業特別会計歳入歳出決算認定についてを採決

します。

本案は原案のとおり認定することに賛成の方は起立願います。

〔起立全員〕

○田部井健二議長 起立全員。

よって、認定第6号は原案のとおり認定することに決定しました。

◎日程第7 認定第7号 平成27年度呂楽町水道事業会計決算認定について

○田部井健二議長 日程第7、認定第7号 平成27年度呂楽町水道事業会計決算認定についてを議題とします。

これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○田部井健二議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○田部井健二議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

平成27年度呂楽町水道事業会計決算認定についてを採決します。

本案は原案のとおり認定することに賛成の方は起立願います。

〔起立全員〕

○田部井健二議長 起立全員。

よって、認定第7号は原案のとおり認定することに決定しました。

◎散会の宣告

○田部井健二議長 以上で本日の日程は終了しました。

あす16日は午前10時から会議を開きます。

本日はこれにて散会します。

大変お疲れさまでした。

〔午前10時40分 散会〕